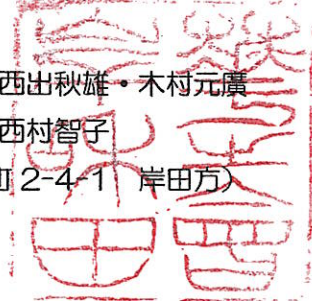


2022年12月2日

岸和田市長 永野 耕平 様
岸和田市教育委員会教育長 大下 達哉 様

市長さん・教育長さんへの要望書

『華の会』共同代表 西出秋雄・木村元廣
事務局長 西村智子
(〒596-0828 岸和田市門前町2-4-1 岸田方)



私たち『華の会』は、①子どもの健やかな成長と幸せを願い、だれでもが住みよいまちづくりをめざすこと。②多様な考えを持つ人々とつながり合い、共に力をあわせて活動すること、③自由な個人参加の市民の会として、今年7月に誕生しました。

その中で、市が進める「市立小・中学校の適正規模及び適正配置実施計画（第1期）案」について会員から疑問が噴出し、交流懇談会等で学習を深めてきました。

市の進め方は、当該地域の住民や市民全体の本音や願いとあまりにもかけ離れています。学校関係者や市民の不安や批判は、地域事情の違いはあれ広がり続けています。

今求められているのは「子育てするなら岸和田市で」と胸を張って言えるような、子どもが大切に育てられ、子どもに投資するまちづくりではないでしょうか。そのことが真の少子化対策であり、人口流出を防止し人口流入と税収増による財源確保につながると考えます。

ここに、【市長さん・教育長さんへの要望書】を下記の通り提出させていただきます。

公務多用中とは存じますが、2022年12月15日までに文書でご回答くださいますようお願いいたします。

記

1 上記の「実施計画案」については、子どもの希望と地域の明るい未来のためにじっくりと時間をかけ、市長自らが多様な市民の声に耳を傾ける姿勢が必要ではないでしょうか。
市民と行政の合意が整うまでは実施計画案をいったん凍結していただけないでしょうか。

2 子どもたちが明るく育つまち、市民のだれもが「元気なまち」になります。
「子育て支援施策・日本一の岸和田市」を、市民と行政の協働でつくっていきませんか。
(1) 市が進めようとする子育て施策の重点課題を具体的に教えていただけませんか。

* 先進都市では、小規模学校の良さを生かした充実策、自治体独自の少人数学級の実施、

18歳までの子ども医療費の無料化、学校給食の無償化、満1歳までのおむつの無償支給、第2子以降の保育料の無料化、公共施設の利用無料化、子ども食堂等の運営支援等々が制度化され全国的に高い評価を受けています。岸和田市でも実施していただけないでしょうか。

(2) 「より良い就学前施設のあり方」を市民と共に考え合い、幼稚園・保育所の再編計画について再検討していただけないでしょうか。

※ 市では公立の幼稚園・保育所が小学校区を基本に配置され、小学校と連携した幼児教育や障害児保育なども実績を上げてきました。再編計画では公立の就学前施設が6園にまで激減されます。幼・保の関係者や子育て世代の危惧が強まっています。

着手中の前期計画は、成果と課題を市民参画で緻密な検証を必ず実施してください。また、中・後期の再編計画は、いったん凍結していただけないでしょうか。

3 最後に、市長さん・教育長さんと『華の会』の話し合う場を持ってくださいませんか。

市長さん・教育長さんの温かいご回答を、『華の会』の会員（約300名）一同、心からお待ちしております。何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

